

# Call for Papers

## 第17回応用計量経済学コンファレンス



このたび、一橋大学・早稲田大学・東京大学・大阪大学では、マイクロ計量経済学をフレームワークとして研究している大学院生ならびに若手研究者を集め、ワークショップ形式のコンファレンスを開催いたします。比較的少人数の大学院生・研究者が意見を密に交わすことで、マイクロ計量経済学的手法を用いた研究を奨励することが目的です。これまで組織委員のほか以下のような方々に討論をお願いしてきました。

過去の討論者(敬称略): 安藤道人、市村英彦、上田晃三、大橋弘、大山睦、奥井亮、河端瑞貴、菊地信義、北野泰樹、北村周平、北村行伸、後藤潤、近藤絢子、佐野晋平、澤田真行、高久玲音、高島正憲、田中万理、田中隆一、中嶋亮、中村さやか、服部正純、福元健太郎、古川知志雄、星野崇宏、山口慎太郎、山崎潤一、山根承子、横山泉、若森直樹、渡辺努、渡辺安虎など

このワークショップは、「スーパーグローバル大学創成支援事業」における国際教育プログラムの一環として実施するもので、早稲田大学・スーパーグローバル大学創成支援・実証政治経済学拠点、政治経済学術院経済学研究科、及び、公益財団法人・東京経済研究センター(TCER)との共催により開催され、オフラインでの発表者及び討論者の参加費用は、日本国内の旅費・滞在費のみを対象として、共催者の予算から支給されます。皆様の積極的なご参加をお待ちしております。

**日 付** 2022年 11 月 5日(土)

**開催様式** ハイブリット開催(予定)

**場 所** オンライン(URL等は、参加者に別途ご連絡いたします)  
オフライン(早稲田大学・早稲田キャンパス・リサーチイノベーションセンター・121号館)  
<https://www.waseda.jp/inst/research/innovation/building121>

(注)9時30分頃開始とし、解散時間は17時30分頃を予定しております。全日参加を原則とし、中途の参加退出はやむを得ない事情がない限りご遠慮ください。詳細な日程は決定次第別途お知らせいたします。また社会情勢等によっては、オンラインのみでの開催となることをご承知おきください。

**募集分野** ミクロ計量経済学的手法を用いた実証分析であれば分野は問いません。労働経済学、産業組織論、開発経済学、教育経済学、医療経済学、公共経済学、消費と投資、実験経済学、その他どんな分野でも可です。合計7~8本の論文の募集を予定しています。

**募集対象** 大学院生、ポスドク・研究員など有期契約の研究者。オフラインで参加される場合の旅費・宿泊費は、日本国内の旅費のみを対象として支給させていただきます。

**討論形式** 発表者25分程度、討論者10分程度、全員でのディスカッションを15分程度予定しております。各論文の討論者は組織委員会で決定いたします。英語による報告も可能です。

**応募締切** 2022年9月1日(木)

氏名、所属、連絡先、報告タイトルを本文に記し、発表論文をpdfファイルで添付したメールを事務局宛([sgu-confa17-office@list.waseda.jp](mailto:sgu-confa17-office@list.waseda.jp))お送り下さい。件名に「応用計量経済学コンファレンス応募論文」とお書きください。応募者多数の場合、選考によって不採択となる場合があります。2022年9月30日(金)までに発表論文およびプログラムを決定し、発表者には、メール等を通じてご案内いたします。